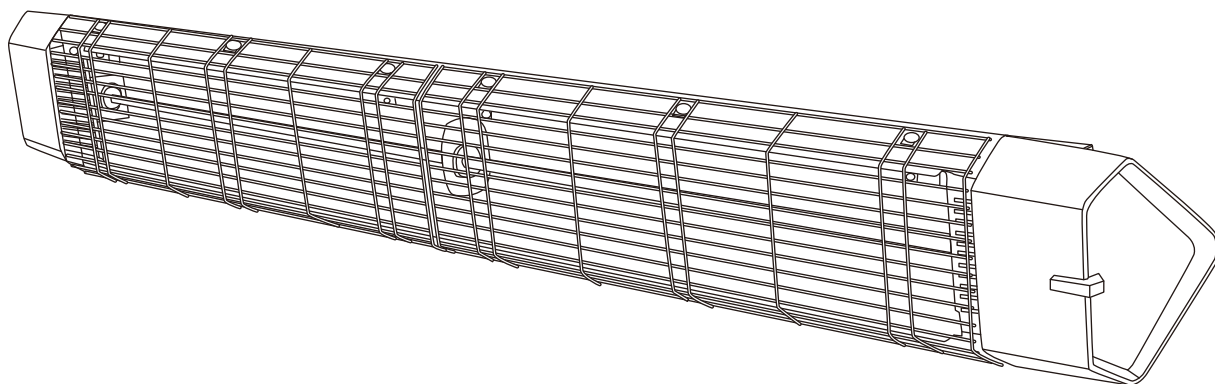


NAKATOMI

天吊り型遠赤外線電気ヒーター

単相200V

FIH-15RC



取扱説明書

このたびは、弊社「遠赤外線電気ヒーター」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。

⚠ 注意 ※下記内容は必ず守ってください。

据付工事が必要です。

- 電気工事は、必ず電気工事士の有資格者、認定を受けた電気工事店に依頼し、電気設備基準・内線規定に従った設置をしてください。資格を持たない方は絶対に設置しないでください。漏電や感電事故の原因となります。
- 接続電源はヒーター専用でご使用ください。同じ電源に複数の機器を接続すると電圧降下を起し、ヒーターの故障に繋がります。
- 電源コードは付属されていません。
- 電源コードは長さに応じて機器の消費電力に十分対応できる太さのコードをご使用ください。
(必要以上に長いコードや径の細いコードは電気の容量不足を起し、機器の故障原因になります。)

この製品は、海外ではご使用になれません。
USE ONLY IN JAPAN.

モデル番号：711300-1

【安全上のご注意】

- ◆ご使用になる前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や物的損害、火災に結びつく重大な内容を記載しています。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
- ◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡しください。

表示と意味

⚠ 警告

使用を間違った場合に、人が死亡、または重傷を負う可能性、および物的損害・火災の危険性が想定される内容を表記しています。

⚠ 注意

使用を間違った場合に人が傷害を負う危険性・物的損害の発生が想定される内容を表記しています。

※△注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく危険性があります。

安全にご使用いただくために、いずれの注意も必ずお守りください。

※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。

ここに記載した注意事項以外にも十分な配慮をしてご使用ください。

図記号の例		図記号の意味
	禁 止	行為の禁止を示します。
	強 制	行為を強制・指示する内容を示します。

⚠ 警告

- ・電気工事は、必ず電気工事士の有資格者、認定を受けた電気工事店に依頼し、電気設備基準・内線規定に従った設置をしてください。資格を持たない方は絶対に設置しないでください。漏電や感電事故の原因となります。
- ・アース（接地）工事は必ず行ってください。工事は電気工事士の有資格者に依頼してください。アース線はガス管・水道管・電話のアース線・避雷針等には接続しないでください。爆発や火災事故の原因となります。
- ・電源コードを破損するようなことはしないでください。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、電源コードの上に物を載せたり、ふすまやドアに挟まないようにしてください。使用中は、結束バンドや針金等で束ねたりしないでください。火災・感電・ショートの原因となります。
- ・据え付け面は不燃材料であることを確認してください。火災の原因となります。
- ・可燃物の近くでは使用しないでください。（カーテンや衣類等の燃えやすいものの側等）また、本機にタオルや布等をかけないでください。火災事故の原因となります。
- ・可燃性ガス（殺虫剤等）を吹きつけないでください。また、灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・塗料等その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くでは使用しないでください。また、スプレー缶等を本体の近くに置かないでください。爆発・火災・故障・変形の原因となります。
- ・接続電源はヒーター専用でご使用ください。同じ電源に複数の機器を接続すると電圧降下を起し、ヒーターの故障に繋がります。
- ・製品を分解したり修理・改造はしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または弊社までご相談ください。

 警告

・ 漏電ブレーカーを取り付けてください。漏電ブレーカーが取り付けられていないと、火災・感電の原因になります。取り付けの際は、お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。	
・ ヒーターの前面 1 m 以内に反射物（鏡・アルミ板・ガラス製品等）や障害物を置いたり、壁面に向けたりしないでください。火災や変形の原因となります。	
・ 本機の 10 倍以上の吊り下げ強度を有する不燃材料の天井・壁に据え付けてご使用ください。その他の方法で使用しないでください。火災や事故の原因となります。	
・ 本機は必ず水平に取り付けてください。縦や斜めには取り付けられません。	
・ 長時間皮膚の同じ場所に照射しないでください。低温やけどを負う危険性があります。皮膚が弱い方・お子様・お年寄り・眠気を誘う薬（カゼ薬・導眠剤・睡眠薬等）を服用している方・疲労の激しい方・深酒をした方等は特にご注意ください。	
・ ガードや反射板に物を貼ったり塞いだりしないでください。火災や事故の原因となります。感電や漏電事故、異常動作、故障等の原因となります。	
・ 本体の開口部や隙間に針金やピン等の金属物を差し込んだり、塞いだりしないでください。故障や火災、事故の原因となります。	
・ ガードを外したまま使用しないでください。発熱体は高温（約600℃）になりますので、大変危険です。	
・ 梱包用ポリ袋は幼児の手の届かない場所に保管をしてください。誤って被ったときに、窒息死する原因になります。	
・ 機械の調子が悪かったり異常に気がついたときは、直ちに使用を中止し、電源を切り、お買い求めの販売店または弊社お客様相談窓口へご相談ください。	
・ 常に人がいる場所でご使用ください。離れるときには必ず運転スイッチをOFFにしてください。	
・ 不安定な場所や振動の発生する場所、車両、船舶等には設置しないでください。故障・事故の原因となります。	

⚠ 注意

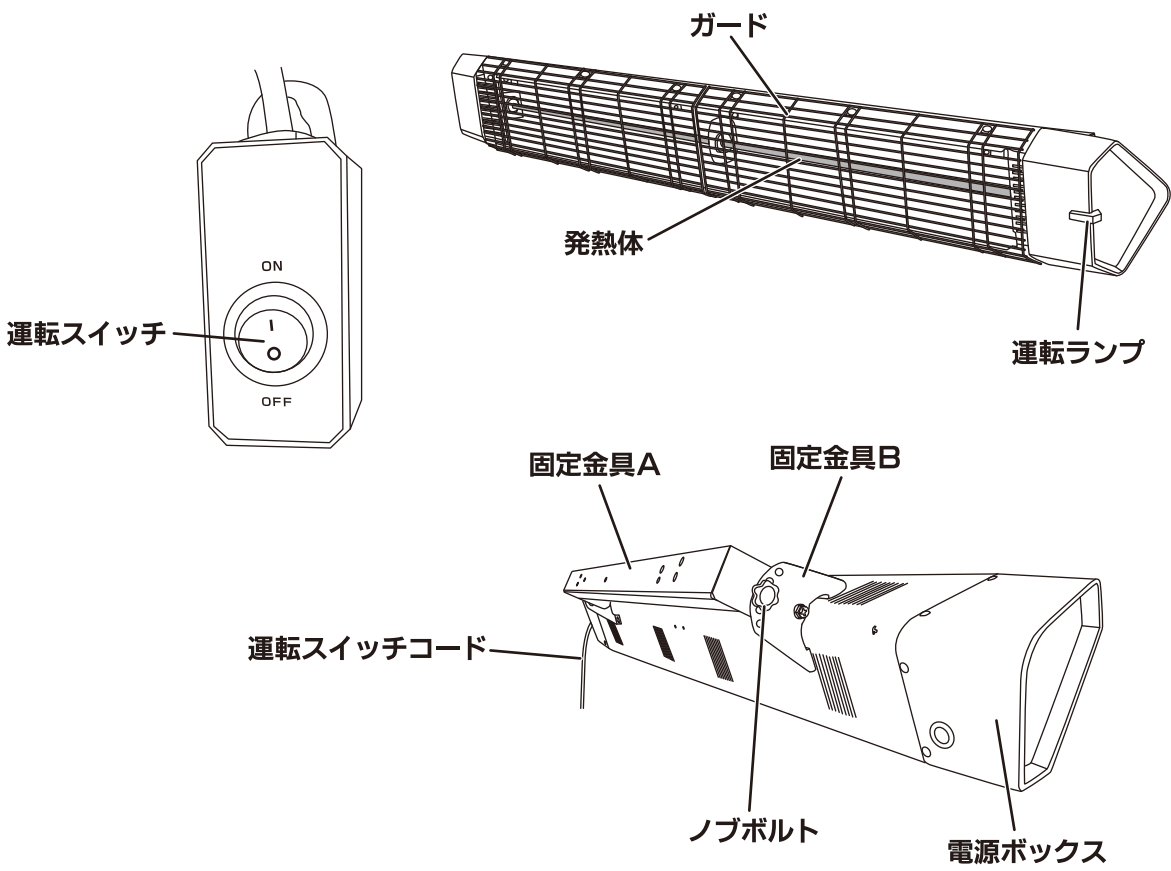
・製品の運送途中の衝撃により、製品が破損したり、取り付け部品が外れたり曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して、正規の状態でご使用くださいますようお願いいたします。	
・使用初期段階には十分換気を行ってください。揮発性有機化合物及びカルボニル化合物が放散される恐れがあります。	
・周辺温度－10℃～20℃の範囲外では使用しないでください。本体が異常加熱したり、正常な動作をしない場合があります。	
・湿度が80%以上ある場所（サウナ・浴室・脱衣所等）では使用しないでください。本体が異常加熱したり、正常な動作をしない場合があります。	
・本機は屋内用です。水のかかる場所や雨水のかかる場所、屋外では使用しないでください。感電・漏電事故や絶縁不良等の原因となります。	
・次のような場所では使用しないでください。 ・温室やビニールハウス等湿度の高い場所、雨や水しぶきがかかる場所。 ・工場内や飲食店、厨房等の油のつきやすい場所。 ・砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多い場所。 ・火花が散るような場所。 ・加工油や防錆油、有機溶剤・塗料等の有害ガス、腐食性の物質（酸・アルカリ等）を含んだガスが発生する場所 感電・火災・破損・故障の原因になります。	
・本機は暖房専用です。他の用途には使用しないでください。変形・変質・発火等の原因となります。	
・食品・美術工芸品・毛皮・皮革・動植物等の乾燥や保温等の特殊な用途には使用しないでください。品質低下等の原因になります。	
・本体に水やお茶等をこぼさないでください。万一こぼしてしまった場合には、すぐに使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。	
・至近距離で顔に照射しないでください。やけどやケガ、目を傷める原因となります。	
・本体に強い衝撃を与えたり倒したりしないでください。故障や事故の原因となります。	
・使用中や使用後しばらくは外装部分やガードが熱くなっています。本体可動部の操作や移動、お手入れをするときは運転スイッチをOFFにしてから漏電ブレーカーを「切」にして、本体が冷めていることを確認してから行ってください。感電、やけど、ケガの原因となります。	
・直射日光が当たる場所では使用しないでください。変色・変形等の原因となります。	
・発熱体の一部分が著しく明るくなるまたは暗くなる場合は、発熱体の寿命ですのですぐに使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡してください。そのまま使用を続けると、感電・漏電事故や火災等の原因となります。	
・体感温度以上に衣服が温められて高温になっていることがありますので、衣服の温度を確認しながら使用してください。やけどやケガ等の原因となります。	
・使用初期段階はヒーターの表面に黒色の粉状物が発生することがあります。これは製品の特性によるものであり、機能や安全性には問題ございません。黒い粉状物が反射板などに溜まっている場合は、軽く払ってご使用ください。	

仕様

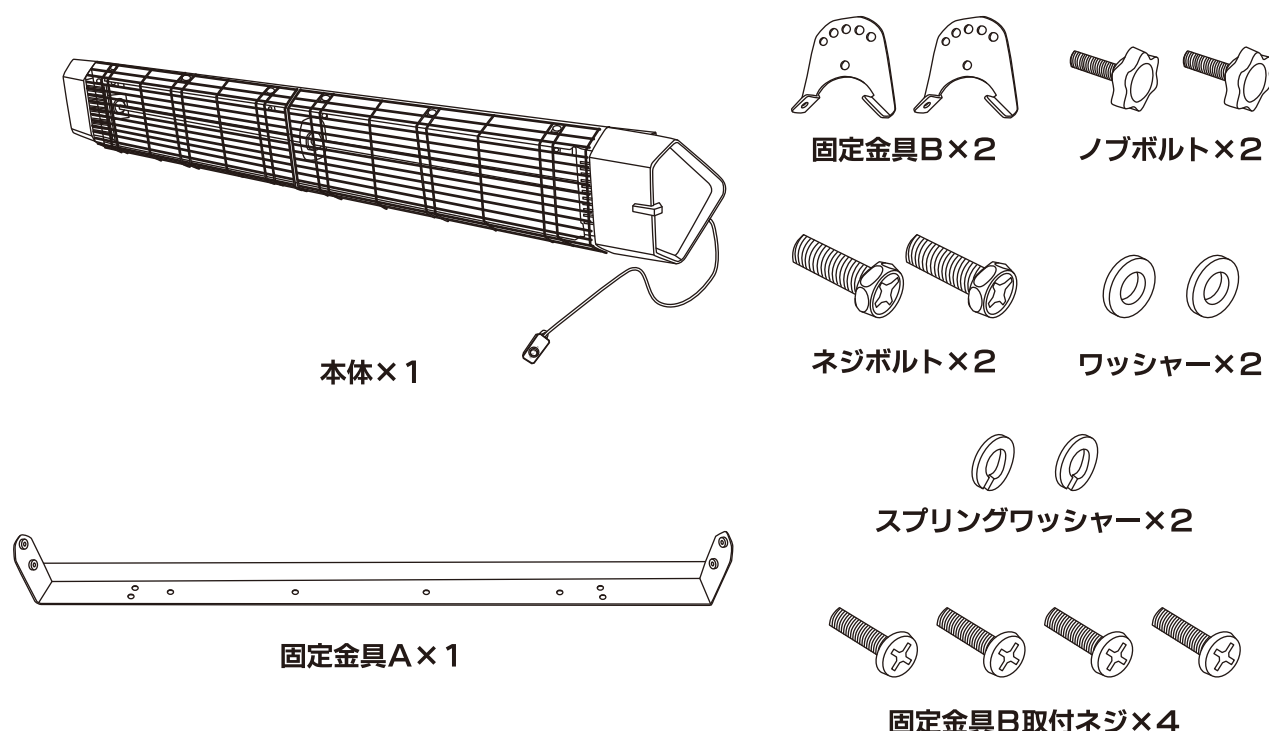
型 式	FIH-15RC
電 源	単相交流200V 50/60Hz
消 費 電 力	1360W
電 流	6.8A
暖 房 方 式	遠赤外線輻射式
安 全 装 置	停電復旧時安全装置・落下時電源遮断装置・過熱防止装置・電流ヒューズ（15A）
運転スイッチコード	約2.0m
本 体 寸 法	W1335mm×D110mm×H160mm
質 量	約5.6kg

※仕様、外観等は改良等のため、予告なく変更することがあります。

各部名称



梱包内容 ※大きさは実寸比と異なります。



据付方法

⚠ 警告

- 分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の運送途中の衝撃により、製品が破損したり、取り付け部品が外れたり曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して、正規の状態でご使用くださいますようお願いいたします。
- 据え付け面は不燃材料であることを確認してください。火災の原因になります。
- 本機の10倍以上の吊り下げ強度を有する不燃材料の天井・壁に据え付けてご使用ください。その他の方法で使用しないでください。火災や事故の原因となります。
- 可燃物の近くでは使用しないでください。（カーテンや衣類等の燃えやすいものの側等）また、本機にタオルや布等をかけないでください。火災事故の原因となります。
- 可燃性ガス（殺虫剤等）を吹きつけないでください。また、灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・塗料等其他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くでは使用しないでください。また、スプレー缶等を本体の近くに置かないでください。爆発・火災・故障・変形の原因になります。
- ヒーターの前面1 m以内に反射物（鏡・アルミ板・ガラス製品等）や障害物を置いたり、壁面に向けたりしないでください。火災や変形の原因となります。
- 車両や船舶には設置しないでください。故障・事故の原因となります。

⚠ 注意

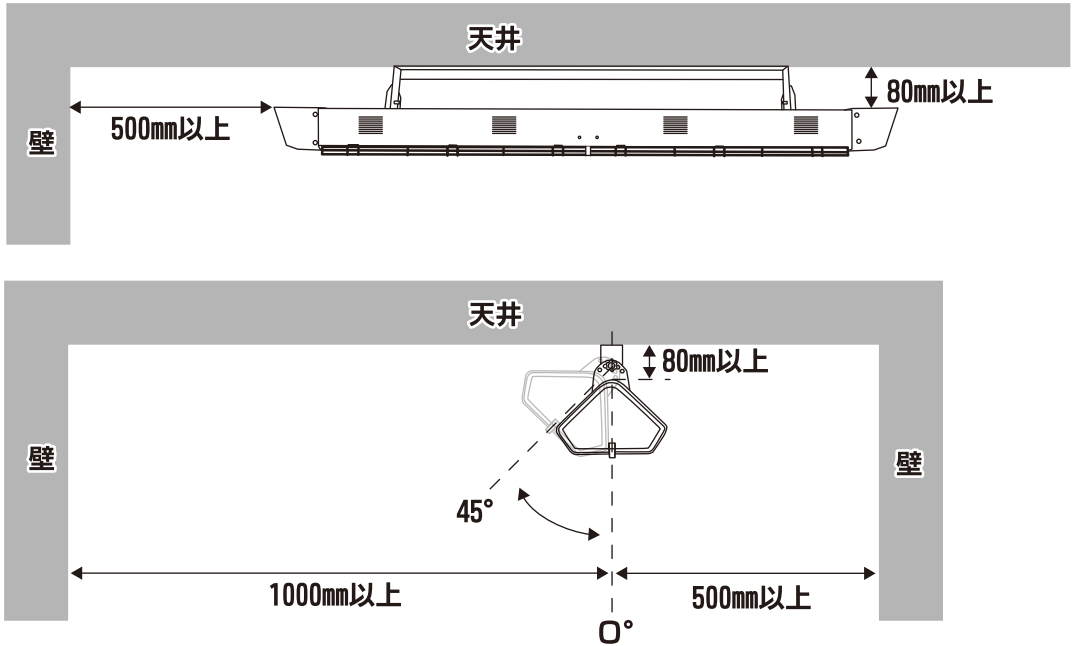
- 周辺温度-10℃~20℃の範囲外では使用しないでください。本体が異常加熱したり、正常な動作をしない場合があります。
- 湿度が80%以上ある場所（サウナ・浴室・脱衣所等）では使用しないでください。本体が異常加熱したり、正常な動作をしない場合があります。
- 本機は屋内用です。水のかかる場所や雨水のかかる場所、屋外では使用しないでください。感電・漏電事故や絶縁不良等の原因となります。

本体の据え付け

※据え付け作業は、専門業者に依頼してください。据え付けに不備があると、火災や事故の原因となります。

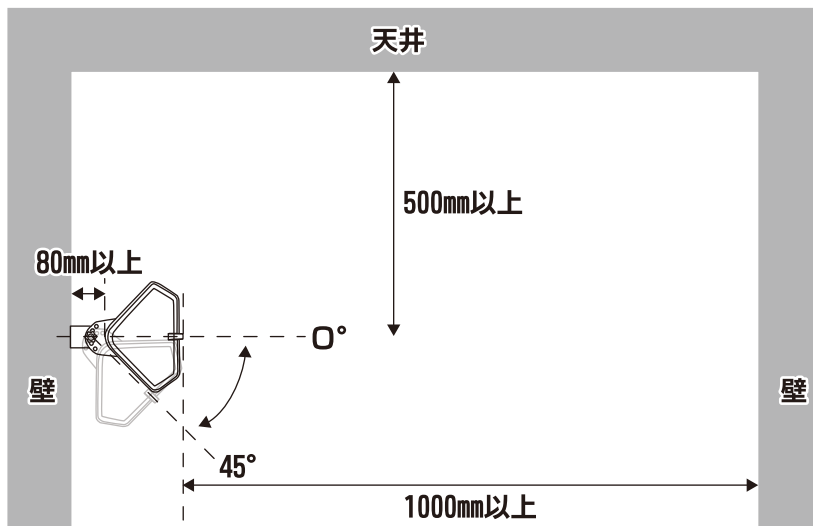
●天井への据え付け

- ・天井および壁との距離を必ず確保してください。



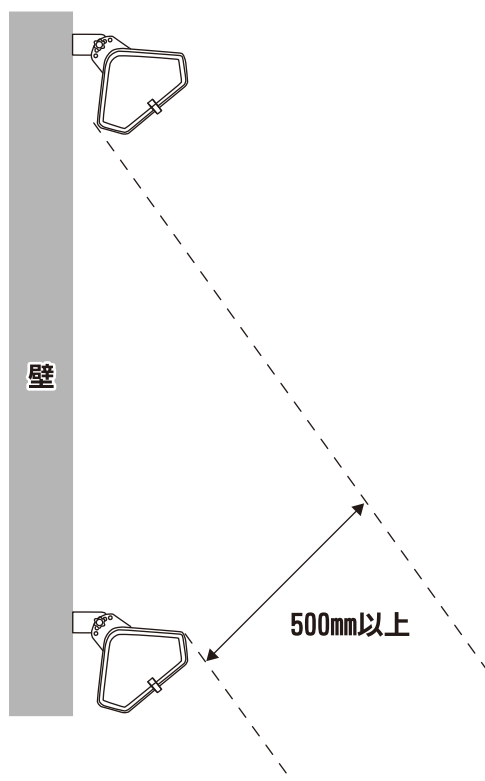
●壁への据え付け

- ・天井および壁との距離を必ず確保してください。
- ※本体を天井側には向けないでください。



●2台以上の据え付け

- ・ 本体同士の距離を必ず確保してください。

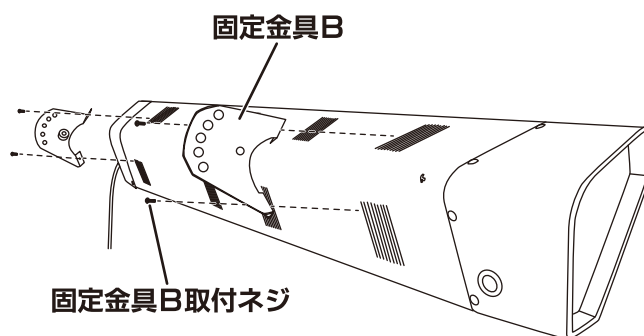


据え付け手順

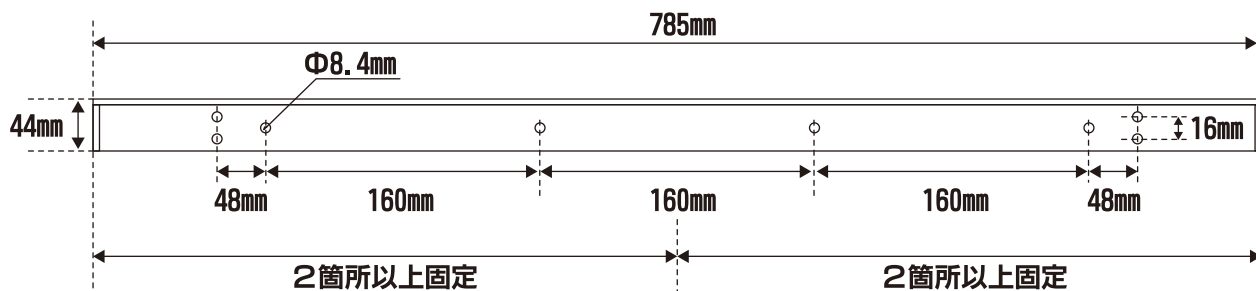
- ① 本体背面に固定金具Bを取り付けます。

⚠ 注意

- ネジを締めすぎないでください。変形・破損の原因となります。
- 据え付け作業は必ず2人以上で行ってください。本体の破損や落下、事故の原因となります。

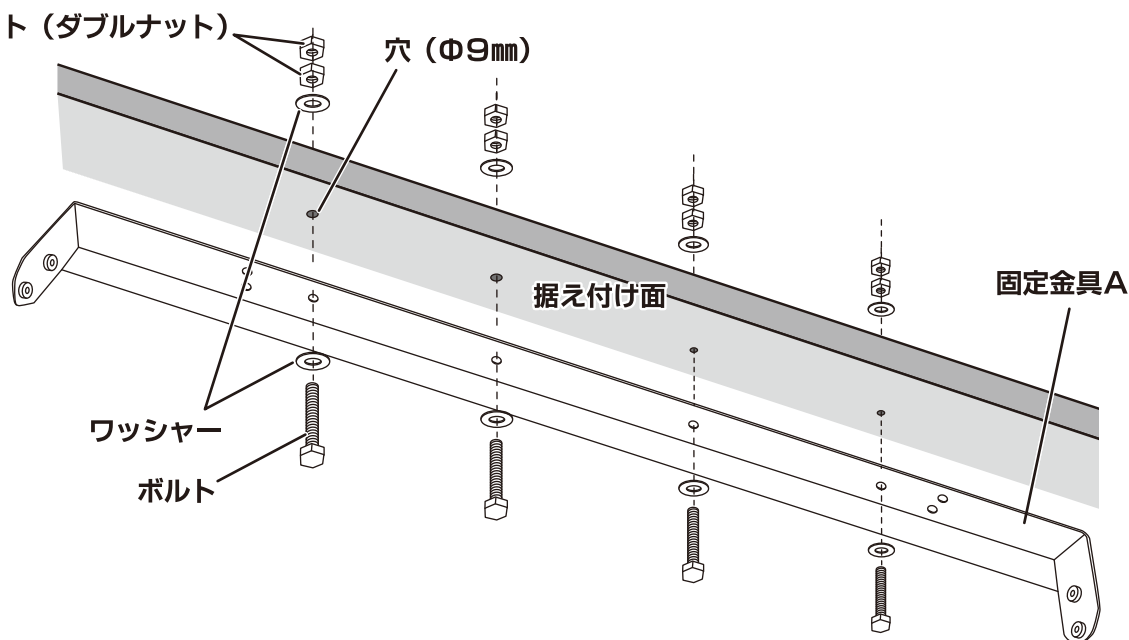


- ② 据え付け面に固定金具Aをあて、現物合わせでΦ9mmの穴をあけてください。(左右2箇所以上、合計4箇所以上)



- ③据え付け面にボルト・ワッシャー、ナット（別売品）で固定金具Aを取り付けてください。ナットはダブルナットにしてください。
 ※ボルト・ワッシャー・ナットはM8を使用してください。
 ※ボルト・ナットの取り付け部は、ゆるみがないことを確認してください。
 ※据え付け面に直接タッピングネジや木ネジで取り付けないでください。
 ※据え付け面に固定金具Aを直接溶接しないでください。

〈取付例〉

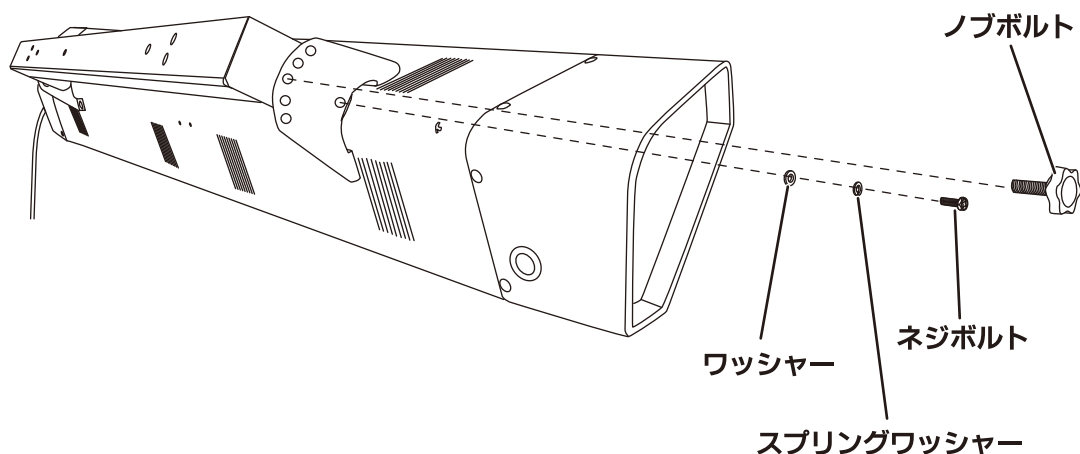


- ④本体を持ち上げ、固定金具Aと固定金具Bの穴を合わせ、ネジボルト、スプリングワッシャー、ワッシャーで両側に取り付けます。
 ※本体は両側にネジボルトを通すまで支えてください。

- ⑤本体を希望する照射角度に合わせ、ノブボルトで両側に取り付けます。

- ⑥ノブボルトをしっかりと締め付けてください。

※据え付け後、電源コードや運転スイッチの配線がヒーター本体に当たらないように必ずクランプ等で固定してください。また、ヒーターの前方（熱にさらされる場所）へ配線を引き回さないでください。



本体と電源の接続

⚠ 警告

- 電気工事は、必ず電気工事士の有資格者、認定を受けた電気工事店に依頼し、電気設備基準・内線規定に従った設置をしてください。資格を持たない方は絶対に設置しないでください。漏電や感電事故の原因となります。
- アース（接地）工事は必ず行ってください。工事は電気工事士の有資格者に依頼してください。アース線はガス管・水道管・電話のアース線・避雷針等には接続しないでください。爆発や火災事故の原因となります。
- 電源コードは付属されていません。配線の長さに応じて適切な太さのコードをご購入のうえ、ご使用ください。
- 接続電源はヒーター専用でご使用ください。同じ電源に複数の機器を接続すると電圧降下を起こし、ヒーターの故障に繋がります。
- 電源コードは長さに応じて機器の消費電力に十分対応できる太さのコードをご使用ください。（必要以上に長いコードや径の細いコードは電気の容量不足を起こし、機器の故障原因になります。）
- 分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。

※電源の接続や配線等の電気工事（配線作業）は、電気工事士法等により、無資格者が工事を行うことはできません。必ず電気工事士等の有資格者に工事を依頼してください。

※無資格者の工事により人的被害（感電等）及び物的被害（ショート、漏電、機器の破損等）が発生した場合、保証対象外となりますので、ご注意ください。

- ①本体側面にある電源ボックスのネジを外して、電源ボックスを取り外します。

- ②電源ボックスの膜付きグロメットに切り込みを入れて、電源コードを通してください。

- ③電源ボックス内の端子台に電源コードを接続します。接続不良や接触不良を防ぐため、電源コードの先端に丸端子等を取付加工して端子台に接続してください。

- ④アース端子にアース線を取付けてください。

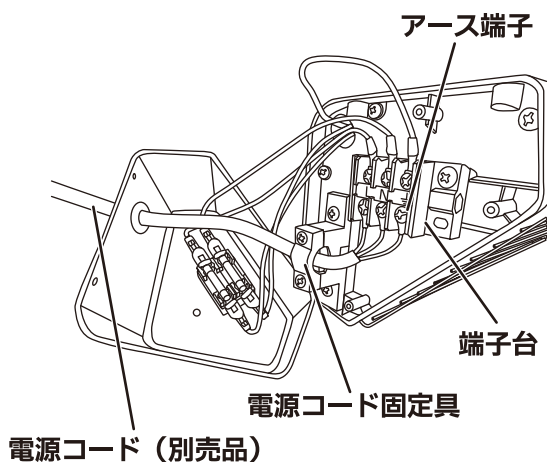
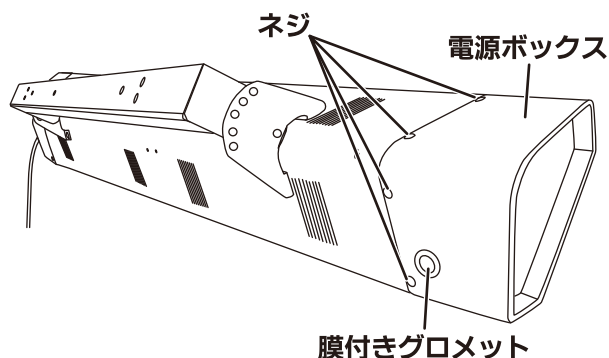
- ⑤電源コード固定具で電源コードを固定し、電源ボックスを元に戻してください。

・電源コード及びアース線は、必ず電気工事士等の有資格者にご相談のうえ、適切な太さの電源コードをご使用くださいますようお願いいたします。

・お手入れや長期間ご使用されないとき等、本体への電気の供給を止められるように、ブレーカーや開閉器等から本体へ配線を行ってください。

※漏電ブレーカーは本機1台につき1個を必ず設置してください。

※電源を接続・通電されると、運転待機状態をお知らせする警告音（ピッ）が1回鳴ります。



運転方法

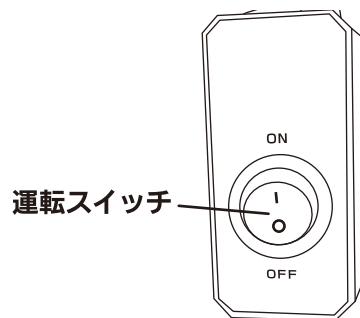
⚠ 警告

- 接続電源はヒーター専用でご使用ください。同じ電源に複数の機器を接続すると電圧降下を起こし、ヒーターの故障に繋がります。
- 可燃物の近くでは使用しないでください。また、（カーテンや衣類等の燃えやすいものの側等）本機にタオルや布等をかけないでください。火災事故の原因となります。

⚠ 注意

- 使用初期段階には十分換気を行ってください。揮発性有機化合物及びカルボニル化合物が放散される恐れがあります。
- 運転中や運転停止後、本体からパキパキ・カンカン等の音が鳴ることがありますが、これは本体の熱膨張や収縮によるもので異常ではありません。
- 使用初期段階はヒーターの表面に黒色の粉状物が発生することがあります。これは製品の特性によるものであり、機能や安全性には問題ございません。黒い粉状物が反射板などに溜まっている場合は、軽く払ってご使用ください。

- ① 運転スイッチをONにしてください。
運転ランプが点灯してヒーターが加熱されます。
※ヒーターが十分に加熱されるまでには時間がかかります。
（15分～20分程度）
※ヒーターの加熱中はわずかに赤く発光します。明るい場所では発光が分かりにくい場合がありますが製品の特性であり、異常ではありません。
- ② 運転を停止するときは運転スイッチをOFFにしてください。
運転ランプが消灯してヒーターの加熱が停止します。
※運転中や運転後しばらくは外装部分やガードが熱くなっていますので触らないでください。やけどの原因になります。



安全装置

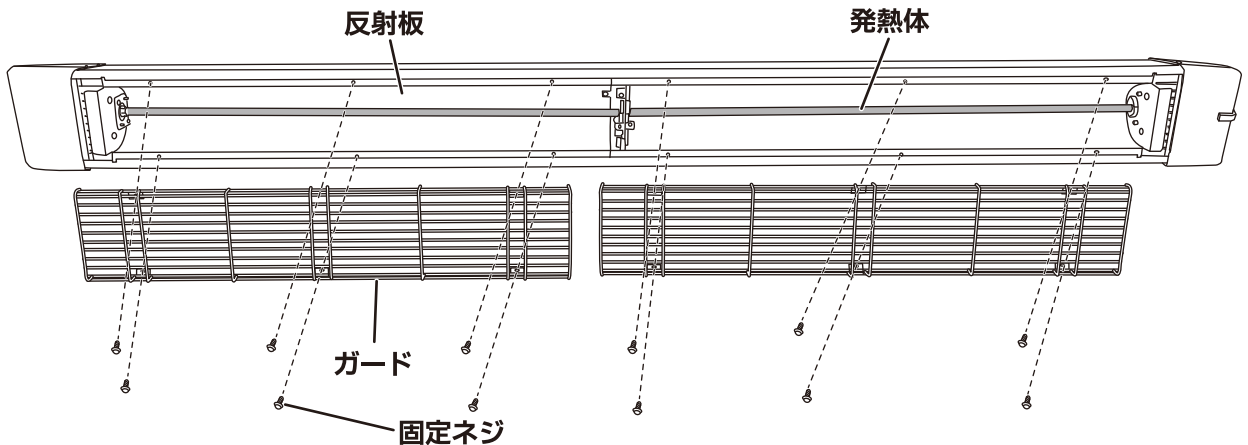
- ① 落下時電源遮断装置
本機が落下したときに電源を切り、運転を停止します。
※安全装置が働くと、警告音（ピッ）が鳴り、運転ランプが点滅して異常をお知らせします。
※安全装置が働いて運転を停止しても、発熱体の余熱で火災等の原因となります。本機が落下した場合はすぐに運転スイッチをOFFにしてください。また、周囲に燃えやすいものがないか周囲の安全を確認してください。
- ② 停電復旧時安全装置
本機が運転中に停電したとき、運転スイッチがONのまま電源復旧してもヒーターが加熱しません。
※運転スイッチがONのまま電源復旧すると、警告音（ピッ）が鳴り、運転ランプが点滅して異常をお知らせします。
※停電時または警告音と運転ランプ点滅による異常を確認したときは、運転スイッチをOFFにして運転を停止してください。周囲の安全を確認してから運転を再開してください。

保守と点検

●反射板の清掃

- ①運転スイッチがOFFになっていることを確認してから漏電ブレーカーを「切」にして、本体が十分に冷めていることを確認してください。
※運転中や運転後しばらくは外装部分やガードが熱くなっていますので触らないでください。やけどの原因になります。
- ②ガードを留めているネジ（12箇所）を外してガードを外します。
※ガードを外すときは指を挟んだり、角等でケガをする恐れがありますのでご注意ください。
- ③柔らかい布を濡らし、固く絞って軽く拭きます。汚れがひどいときには中性洗剤を布に染み込ませて拭いてください。
※ベンジン・シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。

反射板は傷が付きやすいので、柔らかい布以外は使用しないでください。



●発熱体の点検

- ・発熱体は定期的に確認してください。
- ・発熱体の一部が著しく明るくなったり、暗くなっている場合は発熱体の寿命です。直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡してください。
※そのまま使用を続けると、感電・漏電・火災事故等の原因となります。
※発熱体は傷が付くと故障の原因になりますので拭かないでください。

●本体の清掃

- ・柔らかい布を濡らし、固く絞って軽く拭きます。汚れがひどいときには中性洗剤を布に染み込ませて拭いてください。
※ベンジン・シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。

●電源コードの点検・清掃

- ・電源コードが破損していないか確認してください。破損が見つかった場合には速やかに使用を中止し、電気工事の専門業者に点検・修理を依頼してください。
※破損したまま使用しますと、感電・漏電・火災事故等の原因となります。

トラブルの原因と対策

故障の種類	原因	対策
暖まらない	・ 運転スイッチがOFFになっている	・ 運転スイッチをONにする
	・ 停電復旧安全装置が働いている （警告音または運転ランプが点滅している）	・ 運転スイッチをOFFにして運転ランプが消灯したことを確認してから運転スイッチをONにしてください。
	・ 落下時電源遮断装置が働いている （警告音または運転ランプが点滅している）	
	・ 漏電ブレーカーが「切」になっている	・ 漏電ブレーカーを「入」にする
	・ 発熱体の寿命 ・ 機械の故障	・ お買い求めの販売店または弊社お客様相談窓口へご連絡ください
焦げ臭い	・ お買い上げ後初めての使用 ・ 季節始めの使用	・ 発熱体に付着している油や埃が焼けている（故障ではありません）
	・ 本機に何かを載せている ・ ガード・反射板に紙やシールを貼っている	・ 物を載せたり何かを貼ったりしない
	・ 本機の近くに何かを置いてある ・ 本機を壁に向けている	・ ヒーターの前面1 m以内に物を置いたり壁に向けたりしない
	・ 発熱体の寿命 ・ 機械の故障	・ お買い求めの販売店または弊社お客様相談窓口へご連絡ください
	・ 漏電ブレーカーが「切」になっている	・ 漏電ブレーカーを「入」にする
電源が入らない	・ 機械の故障	・ お買い求めの販売店または弊社お客様相談窓口へご連絡ください

上記のことを点検しても変わらない場合には、安全のため直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。異常のままご使用を続けると、故障や感電・発熱・火災の原因になります。

株式会社 ナカトミ

〒382-0800 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL.026-245-3105 FAX.026-248-7101

受付時間10:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。